

# 兵庫の女

武田繁太郎  
え・松岡寛一



★あらすじ まつをは十五才で広島の生家を出て鍾紡の女工になり、同じ職場の安福利市と結婚。共稼ぎで苦労した末、呉服屋かたぢ屋を開いた。結婚後二十年やつと子宝に恵まれた。利市は「南栄商店連合会会長」に選ばれたが、多忙な身は病を起こし、翌年三月他界した。亡夫の一周忌をすますと、まつをは大活躍をはじめるが、ふと口にした酒の味が忘れられなくなる。昭和六年の正月、まつおは高血圧で倒れた。

昏睡状態で生死の淵をさまよったまつをは、奇蹟的によみがえったが、彼女の左半身は完全に不適になっていた。まつをの入院中、長男の良治は一中にバスしてまつをを喜ばせた。やがてまつをも退院したが、御崎の店は人に貸しまつを自身は山手の北野町に移って貸屋業をはじめた。

気づいていく気配を、はつきりと感じっていた。それが癖の、右手を帯のあいだにさいれたまま、彼女はじつと小首をかしげて、あわただしい時の流れをまさぐつていた。

まつを自身の暮しは、気楽なものであった。本宅と別宅と双方に世帯を持ち、多少派手に暮したとて、女世帯では月々のかかりも知れたものであった。

十日いちど往診をうけている田川博士は、診察料が神戸一といわれるほど高く、往診も一回二十円だったがそれとも、支払いが月に百円を越えることはまずなかつた。

昭和六年九月の柳条溝事件をきっかけにして、大陸に勃発した戦火は、その後、満州事変、上海事変、北支事変と、大陸の各地に燃えひろがつていった。日本の国内にも、日まことに戦争気分がみなぎりだしていた。まつをは、北野の高台から神戸の街をみおろしながらこの港町が、戦乱の拡大とともに、軍需景気とともに活

家賃のあがりは、諸経費をひいても、月に千二百円ほどであった。月末になると、まつをは、おたかを岡崎銀行に走らせ、兵庫信宋の野田が持つてきの小切手をそつく

り預金させた。だが、ただにもひとしい利子で、銀行に金を遊ばせておくなど、金の使い道を知らぬ人間のすることだった。

ある日、市橋が、県会からの帰りだと言つて、議事堂からほど遠からぬ北野の別宅にやってきた。彼は、森川県議が国会にでると、その地盤から待望の県会にうつてていた。

北野の別宅にはひさしぶりの珍客だった。まつをは、見晴しのいい南向きの座敷に通すと、さっそく酒肴の用意をさせた。山の手からなだれるようにひろがっている眼下の街は、ちようど灯ともしごろの時刻だった。

「市橋はん。シナの戦争は、一体、どうなるんやろ？」  
まつをは、市橋に酌をしながらたずねた。

「そうやなあ。ちよとやそとでは、もう收まりがつかんやろなあ。日本も国際連盟を脱退したし、政府も軍部も肚をきめて、とことんまでやり抜くつもりやろ」

「まあ、むつかしい話はわからんけど、そうなつたら景気はようなるんやろなあ」

「うむ。いわゆる平和産業ちゅうやつは、だんだんむつかしゅうなるやろけど、軍需産業はようなるな。神戸でもだいぶ軍需景気がでてきてる」

「なあ、市橋はん。わたしも考えてみたら、ええときに戸をたたんだもんや。もう呉服みたいな商売は先がみえてきた。これからは鍛冶屋や。鍛冶屋の世の中やなあ」

「そうや。その辺の街の鉄工所でも、三菱や川崎の下請けで、ウケにはいってるところがある」  
「市橋はん、どうやろ？ わたしらも、なんぞ鉄工所をはじめてみたら」

まつをは、この高台から神戸の街をみおろしながら、じつと考へつづけてきた腹案を、はじめて市橋にうちあけてみた。

「わたしも手足は不自由になつたけど、家主氣取りでじつとしてるのは、どうも性にあわん。まだまだ働けるつ

もりや」

さいきん、まつをは、杖にすがつて歩行練習をはじめていた。家のなかでは、這つたり、いざつたりのほうが手と手早やかたが、それでは、いつまでたつても外へはでられない。

御崎の本宅で、朝早くまだ人通りの少ないころ、動かぬ左足はフェルト草履にくくりつけ、おたかに左脇をちよと支えてもらうと、杖をたよりに、そろそろと家のまえの通りを十間や二十間は歩けるようになつていて。

なにごとも修練である。階段や急な坂道は無理だが、もう少しうまくなれば、人の助けを借りずに、独り歩きできるようになるだろう。途中はタクシーを使えば、どこへでもでかけられるはずであった。

「市橋はんあんた、お顔がひろいんやさかい、鉄工所関係の人もご存知でっしゃる？」

「そらまあ、知らんこともないけど、しかし、あんたがこれからはじめよう言ううんか」

市橋はちよと驚いたようにたずねた。

「いや。素人のわたしででけるはずはない。さいしょは見込みのありそうな鉄工所へ、投資してもええし、融資してもええと考えてるのや」

「なるほどな。いまはどこもどんどん工場を拡張しているときやさかいな。資金はなんばでもいるやろ」

「そういう工場があつたら、あんたのお顔で橋わたししてもらえへんやろか」

「そうやな。心当りを探してみよう」

市橋は、まつをの商才は十分知つてゐるので、本氣でひきうけたようになつた。

話は意外に早くでてきた。それから半月ほどたつたころ、市橋は、神港精機という東尻池にある製釘会社を紹介してきた。この会社は、川西航空の下請けで、軍用機に使うアルミニウムのビスを専門につくっていたが、川西が陸軍機の大増産を開始するので、神港も工場を拡張することになった。その資金が必要になつてゐるというのであ

る。

「飛行機か。これから戦争は飛行機がどしどしいるそ  
うやさかい、飛行機のビスをつくる会社も、景気がよう  
なるやろ」

まつをは乗り気になった。

「まあ、従業員が百名ほどの会社やけど、親会社がしつ  
かりしてゐるし、軍用機関係はこれから花形産業や。こ  
ういうとこへ投資しといたらまちがいないと思うなあ」

市橋も太鼓判をおすように言つた。

まつをは、県議の市橋を仲だちにして、この神港精機  
に十万円投資した。そして、これをきっかけに、鋳物工  
場や製罐工場など、いずれも軍需関係の会社に融資して  
いた。彼女の財産は大部分が家屋の不動産だったが、  
その一部を野田に処分させて、事業への投、融資に切り  
換えたわけである。融資するときには、もちろん、確実な  
担保をとることは忘れてなかつた。

御崎の本宅は、まつをがいる日は、千客万来のにぎわ  
いを呈するようになつてゐた。いずれも鉄工所関係の連  
中である。話がすむと、きまつて酒になつた。

かつてのまつをの豪華ぶりは、まだ伝説のように言い  
つたえられている。客に酒をふるまうことの好きなまつ  
をの癖も、むかしどおりであつた。茹かぶりこそおかな  
くなつてゐたが、酒席は、真っ昼間から夜つびいてはず  
むこともあつた。

だが、街では、赤裸をかけた出征兵が、喇叭鼓隊を先  
頭に駅にむかつて行進していく見送り風景が、日ましに  
その数をましてゐた。東京では、二・二六事件が起り、  
その翌年、盧溝橋事件で大陸の戦火は日支事変に発展し  
南京占領、漢口攻略、重慶爆撃と、この國の大陸進攻は  
はてしのない泥沼のなかに足をふかめつつあつた。

しかし、この戦争景気で軍需産業はいつそう活気をま  
し、まつをの投・融資も成功であつた。  
「あんたは、やっぱり、先見の明があつたなあ。それに  
運の強い人や。病氣で店をたたんだが、かえつて、え



元潮どきになった。けど、あんたは転んでも、ただで起きん。ほんまに油断のならん人やで」

と、市橋もあきれたよう言う。

あいかわらず本宅の酒席はにぎやかだった。酒客たちは、その前歴がほとんど町工場の徒弟から叩きあげた成功者ばかりであったが、戦争で一躍時代の脚光をあびて一夜の鼻息はすこぶるあらかった。

まつをは、いつも床の間を背にして、坐わり椅子にどつかと腰をすえ、酒客たちの相手になつた。酒は依然口にしなかつたが、膳のわきに盃洗を用意し、うけた盃の酒はこの盃洗にながして、馴れた手つきで返盃した。

彼女は左半身が不自由だったとはい、十七貫の身体

は、いささかのおとろえもみせてはいない。頭も冴え、口もたつた。事情を知らぬ初対面の客なら、彼女を半病人だとは気づけなかつたにちがいない。

そうしたまつをの病人らしくもない派手な生活を、息子の良治は、北野の別宅から、一種冷やかな眼差しでじつとながめ暮していた。

良治は、まつをが脳溢血でたおれたときは、小学校の六年だったが、日支事変が勃発した年には、すでに一中卒えて、大阪の高等学校にはいっていた。三の宮から

電車通学していた。

彼は、子供のころから父親つ子で、母親には馴染まなかつたが、この性癖は、少年から青年へと成長していくても、一向におさまらず、かえつてふかくなつていくようであつた。まつをが本宅のほうへ帰つていつても、良治は御崎へ足をむけようとはしなくなつた。

「良治。たまには御崎へ帰つたらどうや? 紀州屋はんらが、良ちゃん、ながいこと顔みいへんけど、元気でいるんか、といつも案じてくれている。悪いやないか」と、まつをに言われても、

「うん。そのうちにいくよ」

と、あいまいに返事するだけだった。

紀州屋や市橋たち、父の古い友人に会うのはよかつたが、柄のわるそうな鉄工所関係の連中が、どうも彼には虫が好かなかつた。

まつをが北野に戻つてきて、良治は、自分の部屋にとじこもつたまま、いつも本ばかり読んでいた。彼は、岩波文庫の赤帯白帯を全部読了する計画をたてていた。母親の部屋をのぞこうともしなかつた。

(つづく)

## ★神戸の催物ごあんない★

<音楽>

▶兵庫県文化賞フェスティバル(オペラコンサート)  
11月3日(日) PM 1:00 入場料無料 於神戸国際会館

▶ヴィレッジ・シンガーズ

11月4日(月) PM 7:00 入場料 ¥430 民音11月例会  
於神戸市立中央体育館

▶グレン・ミラー楽団神戸公演

11月13日(水) PM 7:00 入場料 ¥650 民音11月例会  
於神戸国際会館

▶クラウディオ・ビルラ(カンツオーネ)

11月14日(木) PM 6:30 於神戸国際会館

▶「ベトナム中央歌舞団」

11月20日(水) PM 6:30 入場料 ¥700 労音11月例会  
於神戸国際会館 <写真>



▶兵庫県小学校音楽コンクール

11月23日(土・勤労感謝の日) AM 10:00 於神戸国際会館

▶山手短大マンドリンクラブ演奏会

11月25日(月) PM 6:30 於神戸国際会館

▶松蔭短大コーラス演奏会

11月26日(火) PM 6:30 於神戸国際会館

<演劇>

▶「ペール・ギュント」

11月7~9日 PM 6:15 新人会・青年座・俳優座小劇場公演 作・ヘンリック・イプセン 訳・演出・田中千禾夫 出演・小山田宗徳 今井和子 早川保 長内美那子 山岡久乃はか 入場料 ¥550 労演11月例会 於神戸国際会館

<美術>

▶中国青銅器展(白鶴秋季展)

9月14日~11月24日 料金 ¥100 於御影白鶴美術館

▶館蔵名品展

11月1日~11月24日 料金 ¥100 於神戸南蛮美術館

▶第1回ロード会展

11月1日~15日 於トアロード画廊

▶現代彫刻展 <88年>【コウベ・ビエンナーレ】

10月1日~11月10日 入場料 ¥60 (夜間 ¥80)

於神戸須磨離宮公園

▶横塚繁油絵展

11月15~20日 於そごう神戸店 8階画廊

▶岩本隆善油絵展

11月29~12月4日 於そごう神戸店 8階画廊



つある。これまでにしてくれた祖先  
がなくよ。

108



★「何分未熟な私達ですが、二人で協力しあって明るく楽しい家庭を築くよう努力していきたいと思いま

★『神戸つ子』八月号。例によつてハイセンスの編集・レイアウトが庄巻です。神戸の近世感覚が誌面からあふれ出るような不思議な雰囲気です。

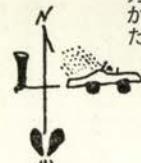
其他の義務的でもあります。写真やカットも随處に活かされていて、活気と、温か味があります。巻末の「神戸百店会」が楽しいよ、と東から一軒、一軒廻って来よう！と張り切っています。

最後に「神戸っ子」のご発展を祈  
つてやみません。△尼崎市 高橋由起夫△

★どこでもそうであるが、秋から冬にかけて、神戸は実にロマンチックである。紅葉をmajiedた後背の山々は一層鮮やかに映える。夕暮ともな

△神戸市東灘区 平沢忠博▽

だいた方がた



神戸つ子こあんない



★月刊神戸』子を毎月お読みになりたい皆さま、また神戸を離れているお友達に、神戸の香りをおとどけになりたい方は、編集室でお申込み下さい。さくお送りいたしま

6ヶ月分  
一年分  
六五〇円  
一三〇〇円(送料共)

神戸の銭局には、お客さまの多くが、ビスとして神戸っ子がおかれています。

左の本屋さんどうぞ。  
コーベブックス さんちかタウン  
漢口堂三宮店 京町筋

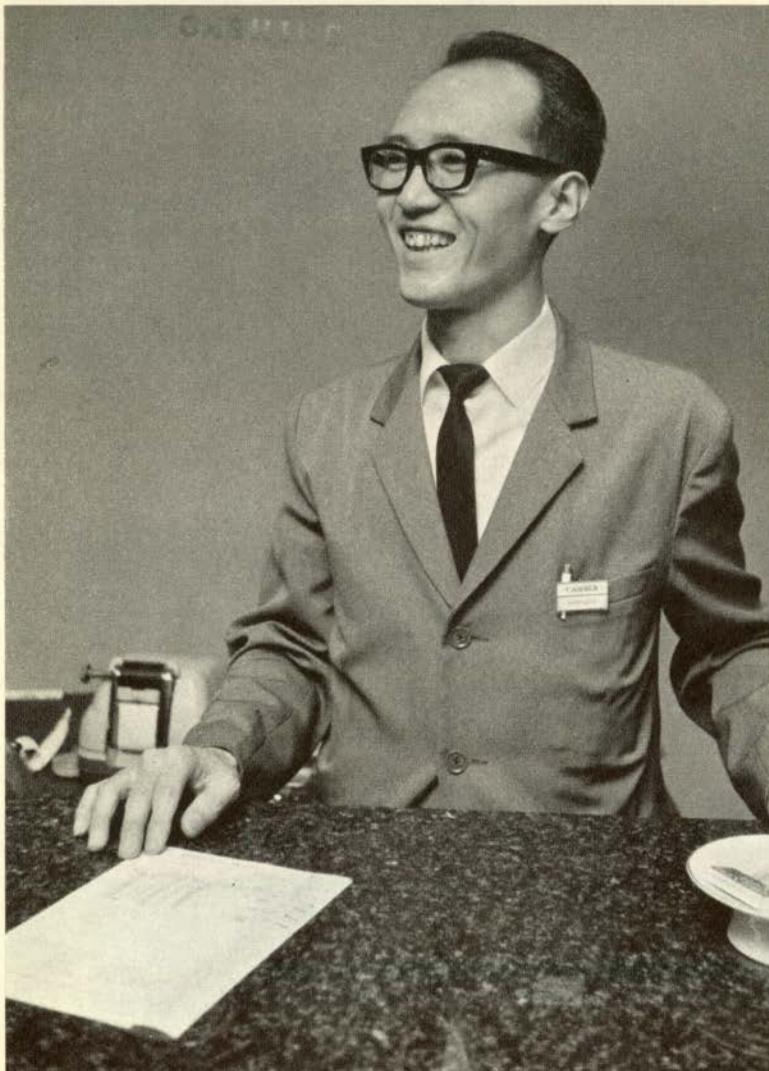
木柏嘉嘉金大小小岡岡岡牛上榎石井石乾砂青荒有浅朝安  
曾比  
下井納納井淵野根崎部崎尾田並野上野 野木木岡田奈部  
文  
健毅正元ツ一真 伊真吉将正成左信豊 重 信長 正  
ト 都 衛  
繁一六治彦ム夫造忠子一朗雄一明門一彦仁雄見道平隆夫

神行山若百村宮宮松福深原煙原野南中直外  
戸  
青吉口杉崎上地崎井富水 口沢部西木島  
年  
会故泰 辰正裏辰高芳惣泰專忠幸圭 太健  
議 二 一次二 一  
所女弘慧雄郎二雄男美吉良郎郎郎三勝郎吉

文流泉書房 洋堂 新聞会館 1階 センターハー

◎月刊神戸っ子に広告を掲載して、お店を、また商品をご紹介なさりたの方は、月刊神戸っ子編集室へお申込みください。  
◎神戸百店会の事務局も月刊神戸っ子編集室内にあります。

\* 発行 / 昭和43年11月1日  
\* 編集・発行 / 小泉康夫  
\* 発行所 / 神戸つ子編集室  
神戸市葺合区八幡通5ノ96  
K・E・ビール 4 階  
(22)70337 (22)8072  
頒価 / 100円



この腕を売る

## 正確なホテルマシン

石原 康男

オリエンタルホテルフロントキャッシュヤー

「毎日、オデコを磨いているの?」って、子供に聞かれて、テレいたこともある程、額がひろい。そのオデコの内側では、毎日の、宿泊客の勘定が往来する。

ホテルの勘定は、スーパーマーケットのみに、電話代、新聞代、サービス料、税金等々のおかけ?で、一円代の数字が動くのだから、ややこしいしかも、ホテルマシンという機械との関係で、一円合わなかつたら、夜寝ずでも、エラーをさがさねば、ならない宿命もある。ドル、ポンド等の両替、トラベルチケットの点検・緊張を要する職場であろう。しかし、ここでも、笑みを忘れることは、ゆるされない。

「ひとたび部屋に入れば、アパートと一緒に、そして、正午から正午まで、使えるホテルの客室、有効に使われたら、ホテルの宿泊料は安いものですよ」と勘定取りの感想を述べられた。

# PORT LOOK

11月

ケープコート★福富芳美

明石女子短大学長  
神戸ドレメ院長





秋の観光船のトップをきつて訪れたアルカディア号。英國からのエトランゼ達で四突は活気に満ちています。今冬、若い人ならだれもが着てみたいナと思うケープコートをご紹介しましょう。

布地は、ブルーとグレーの落ちついた色調の英國風ゾイード。前のボタンがミリタリーな感じで若々しく、ネットの靴下、ブーツが、ミニのコートにうまくコーディネイトされています。黒のベレーが、ボニールックの粹なタッチをみせて KOBE の冬にふさわしいケープコートです。

11月のマドモアゼルは加藤博子さん (21才)

ケープコートをうまく着こなした加藤さんは、松蔭短大卒業後神戸ドレスメーカー女学院専攻科の在学中の娘さん。城崎育ちの彼女は、高校時代から神戸が好きで、六甲の叔母さんの家から神戸の学校へ通っているそうだ。趣味はスキーと絵画。

おしゃれの上手い彼女は、神戸のショッピングが楽しいといい、小さなしゃれたお店を持つか、平凡な奥さんになりたいの

という憧がきらりと美しい。細つそりとした身体にモダーンなムードを持つ近代的なお嬢さんだ。



カメラ・米田定藏

# オフィス・レディの悟味酉訪問 <13>



味覚の秋に・ちゃんこ横綱鍋

1日48時間あれば……

食べることが美容の秘訣とか、

せっせとちゃんこ鍋をつっつく

笠原宣子さん

（スタイルビル 弥生勤務）

★三宮阪急西口の《悟味酉本店》が全店マス席の鍋もの専門店として新装開店いたしました。

鍋もの・定食

悟味酉本店

阪急西口 <33> 3848

鍋もの  
炉ばた 悟味酉

阪急西口 <33> 3848  
<2階>

★姉妹店

お茶漬・おむすび・鍋もの

ふる里

生田前筋 <33> 5535

さんちかタウン

悟味酉ちゃんこ場

味ののれん街 TEL 神戸 (39) 5319



うべ  
まん  
(II)  
南 京 街

文・陳

舜臣

カメラ・緒方しげを

戦前、この南京町はアーケードの元祖ともいうべきキャンバスの覆いが町筋にかぶせてあつた。昼間でも暗く、人びとはそこに人間の濃厚なおいを嗅ぎ、自分のにおいをませあわせ、一種の親密感をつくりだしていた。いまは青天井で、なにもかもあつさり蒸発してしまう。かつてのウエットな情緒は消え、ドライになつた。これが近代化というのであろうか。体臭は薄れたが、まだ香水でごまかしていらないところに僅かに救いがある。



都會の表通りは化粧した顔だが、裏通りは素顔である。南京町もコウベの素顔、それも特殊な素顔といえる。明治初年、条約国でなかつたので居留地に住めなかつた中国人が、その近くに集まつたのがこの町の誕生である。戦前にくらべて、日本人の居住者が多くなり、エキゾチックな雰囲気は減つたが、それでもかつての面影をとどめたところがあり、たとえばこの漢薬の店なども、南京町情緒といわれるものの最後のトリテのような感がある。



よく横浜中華街（南京町）の豪華さをあげて、神戸の南京町の衰微を論じる声をきく。横浜の南京町は戦後道路をひろげ、大廈高樓の中華料理店をならべてみせたが、そのため化粧をして香水をふりかけた町、つまり表通り化してしまった。神戸の南京町が依然としてエプロンとツツカケで歩ける気らくな裏通りであることは、べつに卑下する必要はない。こけおどしのない所がよいのであつて、むしろもうすこし体臭がほしいほどである。

No.9

●サンサカエ・ゴルフコーナー

さあ！ゴルフを終えてクレー射撃を



青年議員のスポーツにかける日

伊藤国衛<兵庫県会議員>

マーク!! ピリッと空気が振動する。一瞬  
クレーが飛ぶ。ガーン。銃声と共にクレーが  
粉微塵にくだける。ゴルフを終えたあのなご  
やかな伊藤氏が、自らの神経に挑戦する瞬間  
だ。ゴルフに射撃に時を忘れる一日であった



コートの芸術作品・シーラップ

ソフトな手ざわりと、貴重ある着こなし。誰  
の眼も魅きつける本格的イタリー製スリーシー  
ズンコート・シーラップ。コーディネートなライナー  
は、あなたのセンスにぴったり。★￥47,000、-

マックグレガー



マックグレガー

マンシング  
ウェア

men's apparel

サンサカエ

ラコステ



ラコステ

マンシング  
ウェア

メンズアパレル

サンサカエ



ラコステ

マンシング  
ウェア

メンズアパレル

サンサカエ

ダブルロップ

ラコステ

マン

# 神戸百店会

Kobe High Class Shop Group

\*宝飾品 Jewel·Pearls

①宝飾 御木本真珠店	元町通三丁目 International House
②宝飾 田崎真珠店	元町通三丁目 Kobe Shinbun
③宝飾 北村真珠店	元町通二丁目 2-motomachi
④宝飾 タジマジ	元町通二丁目 2-motomachi
⑤時計と宝石 美田時計店	元町通三丁目 3-motomachi
⑥宝飾 神戸宝石	元町通二丁目 2-motomachi
⑦真珠・毛皮 ムラタ	元町通二丁目 2-motomachi
⑧紳士洋服・洋品 Tailor & Men's Shop	元町通四丁目 4-motomachi
⑨紳士服 柴田音吉洋服店	元町通四丁目 4-motomachi
⑩ネクタイ 元町バザー	元町通一丁目 1-motomachi
⑪紳士服 三恵洋服店	元町通四丁目 4-motomachi
⑫男子洋品 フナキヤ	元町通三丁目 3-motomachi
⑬紳士服 十字屋洋服店	元町通五丁目 5-motomachi
⑭洋品雑貨 サノヘ	元町通二丁目 2-motomachi
⑮ワイシャツ 神戸シャツ	元町通二丁目 2-motomachi
⑯紳士服 洋服の渡辺	元町通二丁目 2-motomachi
⑰衣生活品 ニッケショールーム	元町通三丁目 3-motomachi
⑲紳士服 神戸テーラー	元町通西口 Hankyu west Exit
⑳若人の服飾 マンツク	元町通二丁目 2-motomachi
㉑紳士服飾 ユ	元町通二丁目 2-motomachi
㉒紳士シャツ 大和屋のシャツ	元町通二丁目 2-motomachi
㉓婦人洋装・洋品 Ladie's Shop	元町通二丁目 2-motomachi
㉔帽子 マキシン	元町通二丁目 2-motomachi
㉕服飾雑貨 エスター・ニュートン	元町通二丁目 2-motomachi
㉖洋品 スギヤ	元町通二丁目 2-motomachi
㉗ハンドバッグ シラサ	元町通二丁目 2-motomachi
㉘ベビー用品 フアミリア	元町1丁目 1-motomachi

㉙洋傘 オカダ	元町通三丁目 3-motomachi
㉚洋装 マスヤ	元町通二丁目 2-motomachi
㉛婦人服飾 ベニヤ	元町通二丁目 2-motomachi
㉜輸入服地 マルゼン	元町通一丁目 1-motomachi
㉝婦人・紳士服飾 セリザワ	元町通二丁目 2-motomachi
㉞毛皮 ベニ一毛皮店	元町通三丁目 3-motomachi
㉟*装身具・服飾品 Accessory·Dress	
㉟ベッ甲 太田ベッ甲	元町通一丁目 1-motomachi
㉟ハンドバッグ アクセサリー	元町通一丁目 1-motomachi
㉟アクセサリー イクシマヤ	元町通一丁目 1-motomachi
㉟芸芸 芸夢	元町通二丁目 2-motomachi
㉟婦人・紳士靴 クロス靴店	元町通一丁目 1-motomachi
㉟婦人・紳士靴 ヨシオカ	元町通一丁目 1-motomachi
㉟*和装 Kimono. Geta	
㉟呉服 ちんがら屋	元町通二丁目 2-motomachi
㉟呉服 みよしや	元町通二丁目 2-motomachi
㉟衣裳 中川衣裳店	元町通二丁目 2-motomachi
㉟衣裳 つるや衣裳店	元町通二丁目 2-motomachi
㉟*美容 Beauty Shop	
㉟美容 ブルーアキラ	北野町3 (22) 5680
㉟美容 ローズアキラ	三宮通9 (33) 4461
㉟美容 美容室エリザベス	本店・生田 3-motomachi
㉟*美術・工芸品 Art	
㉟美術 元町画廊・若木屋	元町通一丁目 1-motomachi
㉟画材・額縁 末穂積製額	元町通一丁目 1-motomachi
㉟工芸 磯川工芸店	元町通一丁目 1-motomachi
㉟美術陶磁器 淡洲堂	元町通三丁目 3-motomachi
㉟新古美術 播新	元町通三丁目 3-motomachi
㉟*家具・家庭・文化用品 Furniture·Family	
㉟家具 永田良介商店	元町通二丁目 2-motomachi
㉟玩具 具力アメヤ	元町通二丁目 2-motomachi

㉟メガネ 神戸眼鏡院	元町通三丁目 3-motomachi
㉟カメラ コヤマカメラ	元町通二丁目 2-motomachi
㉟儀式用品 富田屋	元町通二丁目 2-motomachi
㉟カバン 大上鞄店	元町通一丁目 1-motomachi
㉟ブルフ用品 夕力ハシ	元町通一丁目 1-motomachi
㉟電器製品 元町家庭電器販売KK	元町通六丁目 6-motomachi
㉟楽品 三星堂薬局	元町通六丁目 6-motomachi
㉟メガネ 服部メガネ店	元町通二丁目 2-motomachi
㉟結納儀式用品 遠藤福寿堂	元町通二丁目 2-motomachi
㉟*ボーリング Bowling	
㉟ボーリング 神戸スタークーン	西役所西側 West City Hall

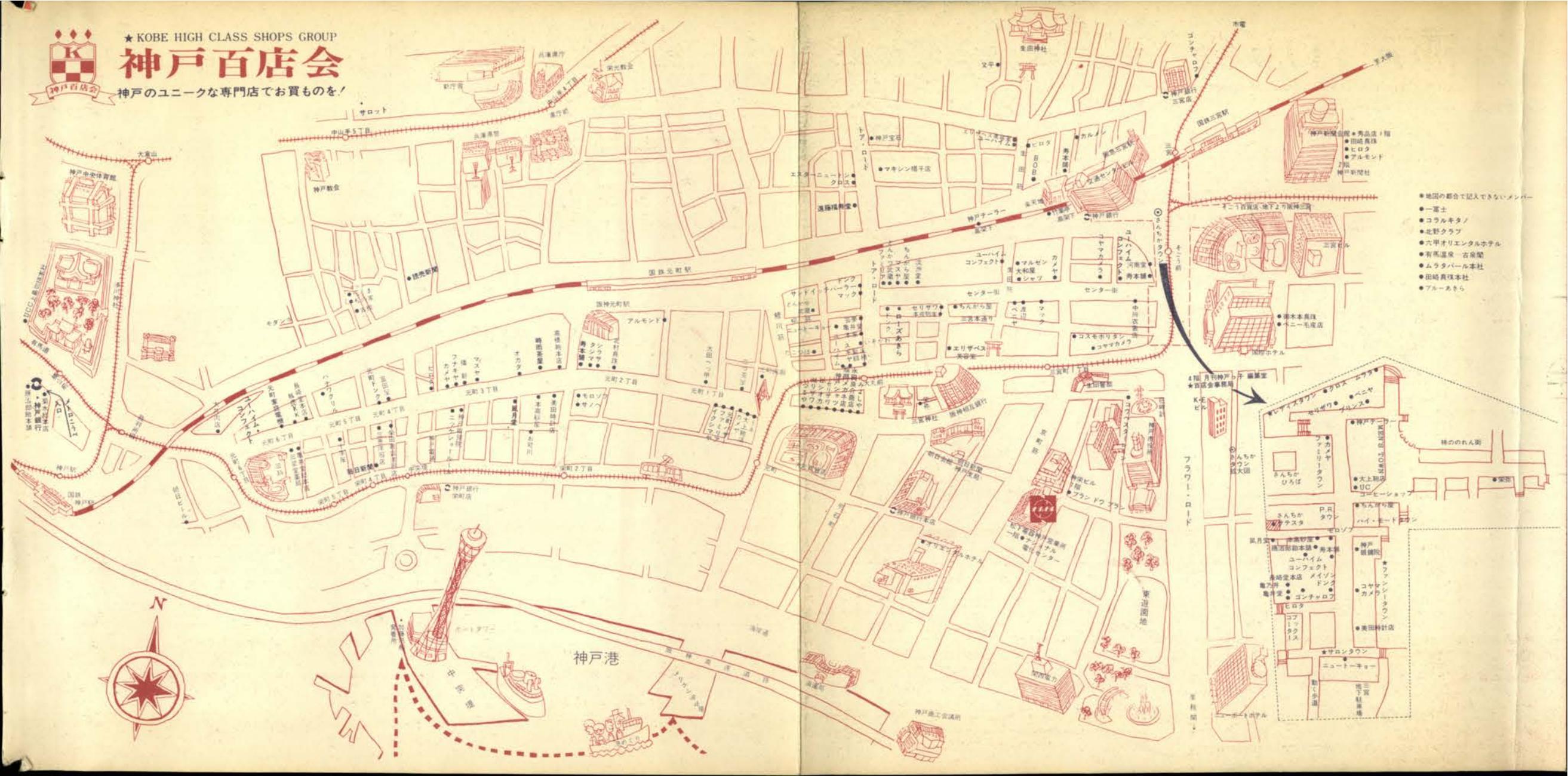
㉟和洋菓子 寿本舗	島原三丁目 3-motomachi
㉟*和洋料理 Eating House	
㉟喫煙・日本料理 竹葉亭	島原三丁目 3-motomachi
㉟天婦羅 お可亭	島原三丁目 3-motomachi
㉟物語料理 一富士	島原三丁目 3-motomachi
㉟寿司 本成駒	島原三丁目 3-motomachi
㉟とんかつ 武蔵	島原三丁目 3-motomachi
㉟スペイン料理 カルメン	島原三丁目 3-motomachi
㉟欧風料理 ハナワグリル	島原三丁目 3-motomachi
㉟ピザ・ホール ニュートーキョー	島原三丁目 3-motomachi
㉟海川魚料理 時雨茶屋	島原三丁目 3-motomachi
㉟軒料理 蜷の壺	島原三丁目 3-motomachi
㉟レストラン コラルキタノ	島原三丁目 3-motomachi
㉟レストラン ブランドウ	島原三丁目 3-motomachi
㉟上品 茜屋	島原三丁目 3-motomachi
㉟寿司 丸平	島原三丁目 3-motomachi
㉟神戸内 大井肉店	島原三丁目 3-motomachi
㉟*クラブ・料亭 Night Club	
㉟料亭 松乃家	花園2丁目 2-motomachi
㉟ナイトクラブ 北野クラブ	花園2丁目 2-motomachi
㉟クラブ くらぶ花くま	花園2丁目 2-motomachi
㉟*ホテル Hotel	
㉟ホテル 神戸オリエンタルホテル	花園2丁目 2-motomachi
㉟ホテル 六甲オリエンタルホテル	花園2丁目 2-motomachi
㉟観光旅館 有馬温泉(東有馬)古泉閣	花園2丁目 2-motomachi
㉟*商社 Trading House	
㉟ビル 朝日麦酒KK	相生7丁目 7-motomachi
㉟電化製品 ナショナル電化センター	相生8丁目 8-motomachi
㉟銀行 神戸銀行	本店 生田通花園 8-motomachi
㉟珈琲・紅茶直輸入 UCC上島珈琲本社	相生2丁目 2-motomachi



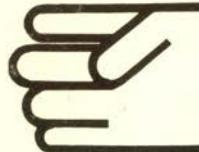
★ KOBE HIGH CLASS SHOPS GROUP

# 神戸百店会

神戸のユニークな専門店でお買ものを!



交通戦争時代の貯蓄はコレ！《こうべ》の交通安全定期



貯めながら**10**倍の働き



- ご預金額は2.5万円から100万円まで21種類
- 最高1,000万円の額もしい備え
- 会費はお利息から何年間でも自動的に  
払込まれ、お手間がかりません

● 交通事故傷害保険がセットされた  
新しい定期預金が登場！《こうべ》の  
交通事故対策を兼ねた一石二鳥  
の《こうべ》の交通安全定期  
で交通激化時代にも安心  
な生活プランをどうぞ—



神戸銀行

詳しくは《こうべ》の窓口へどうぞ

東宝／内藤洋子

昭和四十一年一月二十日  
第三種郵便物認可

発行所／神戸市兵庫区八幡通五丁目九六（市役所前）K・Eビル四階  
昭和四十三年十一月一日発行毎月一回

大日本印刷株式会社印刷  
編集発行／小泉康夫

（送料12円）

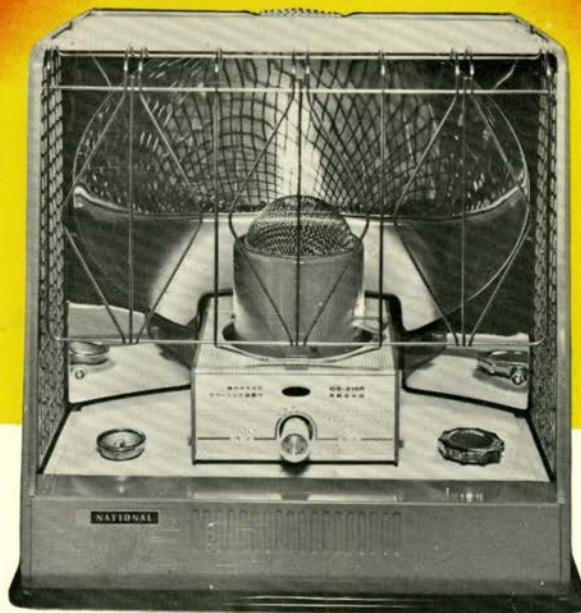
# いつも暖房効果満点！

## 定評ある〈クリーニング装置〉

特許・実用新案24件・海外（米・英・仏）の特許取得



### 超ワイド反射



**OS-210R** 色（赤・エビ茶）

6～8畳（10～13m<sup>2</sup>）

赤火反射形、自動点火、安全タンクつき

現金正価 9,500円

月賦定価（6回） 10,200円

- ・クリーニング装置
- ・強力ガラス芯
- ・足もとからグングンお部屋全体をむらなく暖めます。
- ・安全タンクで安全性は抜群

全機種自動点火の

# ナショナル石油ストーブ

あらゆる住宅設備機器製品のコンサルタント——神戸ナショナル電化センター

神戸市生田区京町78 TEL 神戸(39)8210